

繊維質系泥土改良材 ボンファイバー

ボンファイバーとは？

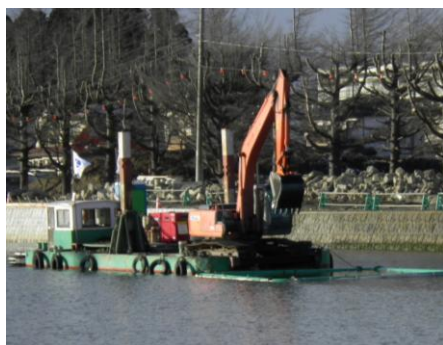
従来、盛土としての利用が不適とされてきた泥土に使用する繊維質系泥土改良材、固化材を添加・混合することにより、これらを積極的に地盤材料に再資源化するための主材料です。



本製品の特長

- 泥土の水分を吸水、取扱い性が向上します
- 乾湿繰返しによるクラックの発生を抑制します
- 液状化抵抗力および耐浸食性が向上します

適用対象土



河川、港湾等の浚渫土砂



ため池底泥



地盤改良、推進工事等から発生する建設汚泥

(その他、建設現場から発生したすべての高含水泥土に適用可能)

使用方法



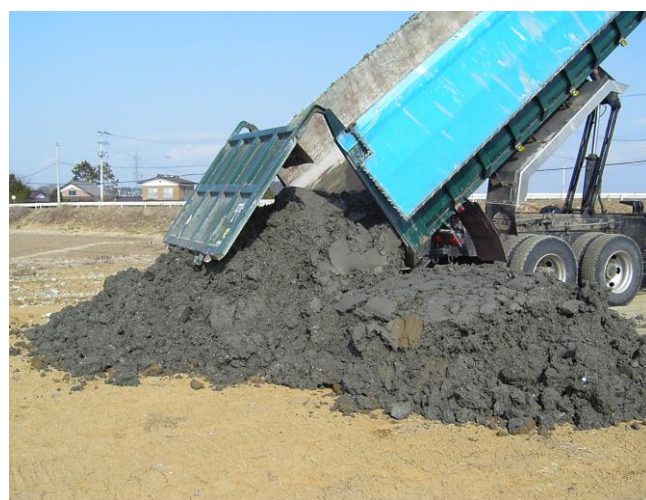
① 高含水泥土を攪拌ピットに集積



② ボンファイバー投入、攪拌



③ セメント等の固化材投入、攪拌



④ 改良土の搬出、養生



⑤ 改良土の敷均し、締固め



⑥ 地盤材料として再利用
(路体、堤体、宅地造成等)

品質・安全性

ボンファイバーの原材料は古紙類を使用しております。本製品の品質や安全性については、環境基準等をクリアした製品を現場へ出荷しております。

ボンファイバー自社基準

項目	規格値	確認頻度
水分	10%以下	年 1 回
pH	6.0～8.0	
吸水量	3.5cc/g 以上	
土壌環境基準 環告 46 号 溶出試験 28 項目	全基準値 満足すること	年 1 回

分析結果報告書		発行番号 No.018230001 発行年月日 2023年4月19日
株式会社森環境技術研究所 殿		事業所 エヌエス環境株式会社 〒105-0011 東京都港区赤坂一丁目2番9号 事業所 東北支社 仙台分析センター 〒983-0013 仙台市青葉区本町一丁目3番地の1 TEL (022) 254-1282
貴依頼による分析の結果を下記のとおり報告致します。		試験責任者 渡辺 泰彦
試験採取日	2023年3月28日	採取時刻 12:00
採取場所	天候・晴、気温:15℃	採取者/所属 客先
件名	森環境技術研究所 試験室	試験受付日 2023年3月29日
試料名	ボンファイバー溶出試験	分析対象 土壌
試料名	繊維質系廃土改良材(ボンファイバー)	
分析項目	(単位)	分析結果
カドミウム	(mg/L)	0.0003未満
全シアン	(mg/L)	0.1未満
有機りん	(mg/L)	0.1未満
鉛	(mg/L)	0.001未満
六価クロム	(mg/L)	0.005未満
ヒ素	(mg/L)	0.001未満
銅水銀	(mg/L)	0.0005未満
アルキル水銀	(mg/L)	0.0005未満
PCB	(mg/L)	0.0005未満
ジクロロメタン	(mg/L)	0.002未満
四塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満
クロロエチレン	(mg/L)	0.0002未満
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.0004未満
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.01未満
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.004未満
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	0.1未満
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0006未満
トリクロロエチレン	(mg/L)	0.001未満
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.001未満
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.0002未満
ブタジエン	(mg/L)	0.0006未満
シクロヘキサン	(mg/L)	0.0003未満
チオベンゾチオール	(mg/L)	0.002未満
ベンゼン	(mg/L)	0.001未満
セレン	(mg/L)	0.001未満
ふっ素	(mg/L)	0.08未満
ほう素	(mg/L)	0.1未満
1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.005未満
以下空白		
備考		・分析に供した試料は、客先が採取した持ち込み試料である。 ・試験方法及び基準値:土壌の汚染に係る環境基準について(平成3年環境庁告示第46号 改正:令和2年環境省44号)

荷姿

寸法:約 90cm×90cm×90cm

重量:約 250kg/個

備考:金属番線による束縛済み(番線カッターをご用意下さい)

飛散防止用フィルムによる被覆済み

専用吊り帯標準装備



製造方法



① 異物除去・選別



② 原材料投入



③ 一次破碎



④ 二次破碎



⑤ 成型



⑥ 完成

本製品施工(ボンテラン工法施工)上の注意点

- ① ボンファイバーと固化材を添加・混合した改良土(以下、ボンテラン改良土という。)は、人口改良土であり、他の発生土と混合して使用しないでください。
- ② ボンテラン改良を行う際は、ボンファイバーおよび固化材の色むらがなくなるまで充分攪拌してください。
- ③ ボンファイバーおよび固化材の添加量は、事前に室内配合試験を実施して配合量を決定してください。
- ④ ボンテラン改良土をすぐに使わない場合は、仮転圧・締固めを行ってください。使う際は、直前に目的強度を確認するため、コーン指数試験を実施してください。
- ⑤ ボンファイバーの添加にあたっては、粉塵が発生するため取扱時には防塵ネット等で周囲への飛散に留意してください。
- ⑥ ボンファイバーを屋外で保管する場合は、直接地面に接しないようパレット等で嵩上げし、ブルーシート等で雨水の侵入を防ぐよう保管してください。また、ボンファイバーの積重ねは、荷崩れが発生しないように2段までとしてください。
- ⑦ メーカーから「製品安全シート(MSDS)」が提出されているので、使用前には必ずお読みください。
- ⑧ ペール缶で原泥を弊社までご郵送いただければ、無償で配合試験を実施いたします。

【製造・販売元】

株式会社森環境技術研究所

〒996-0071 山形県新庄市小田島町 7-36

TEL:0233-22-0832

FAX:0233-22-0932

E-mail: bt@mori-kankyo.co.jp

URL: <http://mori-kankyo.co.jp/>

改訂日:2022 年 10 月 1 日